



# よろこばせごっこ ~上組っ子通信~

No.19

令和2年10月28日

学校の教育目標；五ヶ瀬を愛し、ともに学び合い、ふれあい、高め合う子どもの育成

五ヶ瀬町立上組小学校 TEL 0982-82-0212 FAX 0982-82-0229 文責；校長 三橋正洋

## SDGs (持続可能な開発目標) の実践へ...

23日(金)の参観日に、環境教育講話を行いました。これは本年度、本校が環境教育推進校として取り組んでいる一環として実施したもので、講師に南日本ハム食育広報推進課課長の難波裕扶子さんをお招きし、児童・保護者・地域の方々を対象に、「SDGs (持続可能な開発目標)」を中心に説明していただきました。

SDGs とは 2030 年の世界をよりよくすることを目的にしたプロジェクトで、その目標には下の17があります。(少し字が小さくて見づらいですが...)



内容が少々難しそうなお部分もあったかもしれませんが、子どもたちは真剣にメモを取りながら、聞いていました。「上組っ子5つのチャレンジ」の中の返事・反応が特にできていたと思います。しかも自然に…。そのため、内容もしっかり吸収できていたようです。お話にあった

- ・「(命を) いただきます''' (料理に関わってくれた人への感謝の) ごちそうさま」を意識
- ・食べ物に向こう側を知ること (そうするとありがたさを実感する)
- ・食べることは「命のバトンをいただいている」こと
- ・レジ袋有料化によって、人の気持ちやとらえ方が変わる

を意識しながら、「誰もが(よりよい世界の) 流しソーメンを食べることができるようになることから取り組む」「10年後の世界は自分たちがしっかり作り上げていく」～「地球とのよろこばせごっこ」を続けていきたいと思えます。貴重なお話ありがとうございました。

### ○上組っ子（子どもたちの分はあえて原文のまま載せています）

- 子どもたちがはたらいて、わたしたちのせいかつにつながっていることをはじめてしました。
- ちきゅうが50年前にカラーでしゃしんをとられていたことをはじめてしました。
- アフリカとかでは、お水がのめない人がいることをはじめてしました。
- ぼくは食べ物すすこしそまつにしていたけど、こんどからはやめたいとおもいます。
- SDGsという言葉初めてした。このことを家族に教えたいと思った。「世界がつながっている」「わたしがきてん（起点）」という言葉が心にのこった。地球がどういふことをするとよくなるのかということ初めてした。
- 世界で約60%すてているということ聞いて、とてもおどろきました。今、問題になっている「ゴミ」「地球温暖化」「食糧」のうち、食べ物を捨てないで好ききらいをしないで、自分ができることを考えて生活していきたいなと思いました。
- 自分一人ではなく、みんなの地球だから、環境を守っていけるようにがんばりたいです。身近なことできるようにしていき、いろいろな問題がなくなればいいなと思いました。
- 1時間に木が東京ドーム1個分ほど切られていると聞いて、びっくりしました。これからは食べ物を大切にしていきたいなと思いました。みんな同じ家に住んでいるという言葉が心に残りました。
- わたしは「地球はみんなのおうち、みんなのふるさと」という言葉でこう思いました。「食べ物を捨てない、ゴミを海に捨てない」。今日の動画、画像を見て、地球の環境を少しでもよくしていきたいです。
- ぼくはSDGsが17種類あってびっくりしました。特に15歳以上で字が読み書きできない人や、きたない水を飲んでいる人がけっこういたので、かわいそうだなと思いました。少しでも世界の人を手助けしたいと思いました。

### ○保護者

- とても為になる講話でした。子どもたちにも、すごく響いたのではないのでしょうか。命の大切さも分かったと思います。
- “SDGs”よくメディアで見かけるようになりました。何となくぼんやり見ていましたが、今日の講話で、人に説明？話せる!!ようになりました。子どもと一緒に取り組める大人になりたいと思いました。今日は本当にありがとうございました。
- 数年前に南日本ハムさんで、命をいただく話を聞かせていただきました。今回も、今、生活している自分の姿を思い直すことが多くなりました。自分にもできる小さなことから、未来に向けて努力していこうと思いました。
- “SDGs”という言葉初めて知りました。持続可能な開発目標が世界で考えられているのに、地球にあるエネルギー資源がどんどんなくなっているこの現実を、私も学校ですごく学んできました。でも、その学んできているはずの大人が、地球を汚くしていることを、改めて考えさせられました。家でできることは、ほんのわずかですが、子どもと考えると、これからどう生活を変えていくのが大切なのかを、共に話し合ってみようと思いました。子どもに分かりやすい説明で、とても良い経験になりました。今日はお忙しい中、ありがとうございました。
- 食べ物の向こう側に何があるのかを知ることが大切だと思いました。貧困や戦争は遠いところの話ではなく、私も当事者かもしれない、だから私は変えられると思います。

